

需要動向調査結果とビックデータとの比較分析結果



令和5年2月

玉造商工会

I. 調査の概要

1. 調査目的

伝統工芸品・食品等土産品・特産品等の需要動向に関する調査実施後、集めたデータとビッグデータとの比較分析を行い、結果を事業者にフィードバックすることで販売促進に資することを目的とする。

2. 調査実施日

令和4年11月18日（金）～令和5年2月8日（水）
（アンケート集計結果との比較分析を含む）

3. 調査内容

職と食の手しごと展アンケート回答者の年代別構成比と株式会社NTTドコモ「モバイル空間統計 人口マップ」（ビッグデータ）の年代別構成比を比較し、年代別の関心度の高さについて分析を行った。

4. 使用データ

職と食の手しごと展アンケート集計結果
株式会社NTTドコモ「モバイル空間統計 人口マップ」（仙台駅周辺）

Ⅱ. 調査の結果

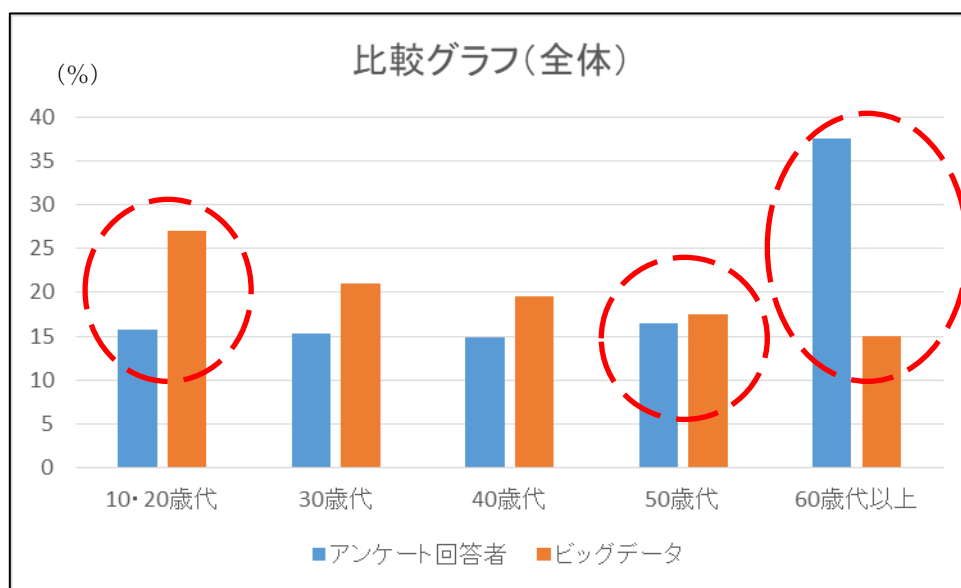
「職と食の手しごと展アンケート集計結果」の年代別構成比と「モバイル空間統計 人口マップ」(以下、ビッグデータと略す)の年代別構成比を比較した結果は次のとおりである。

【アンケート回答者>ビッグデータの場合】は当該年代の関心度が高く、

【アンケート回答者<ビッグデータの場合】には、当該年代の関心度が低いことがわかる。

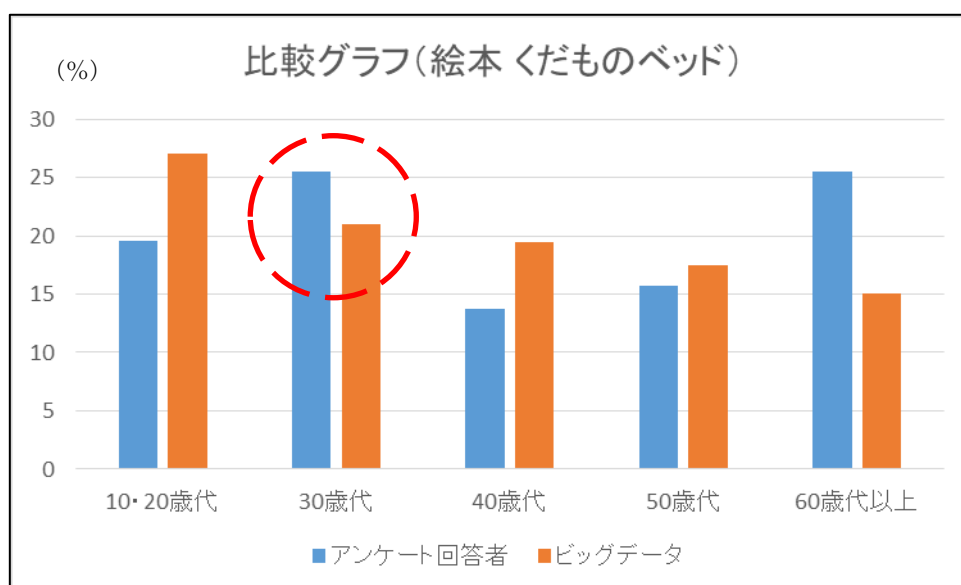
【比較 (全体)】

アンケート回収状況から見ると、全体としては10～20歳代の関心度は低く、50歳代から関心度は高まり、特に60歳代以上の関心度は高い。

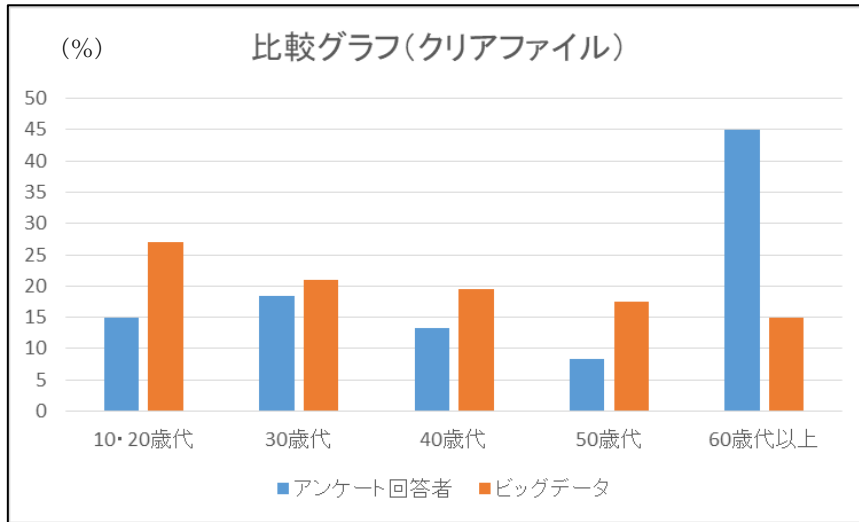


【比較 (絵本 くだものベッド)】

特に30歳代の関心度が高いのが特徴的である。

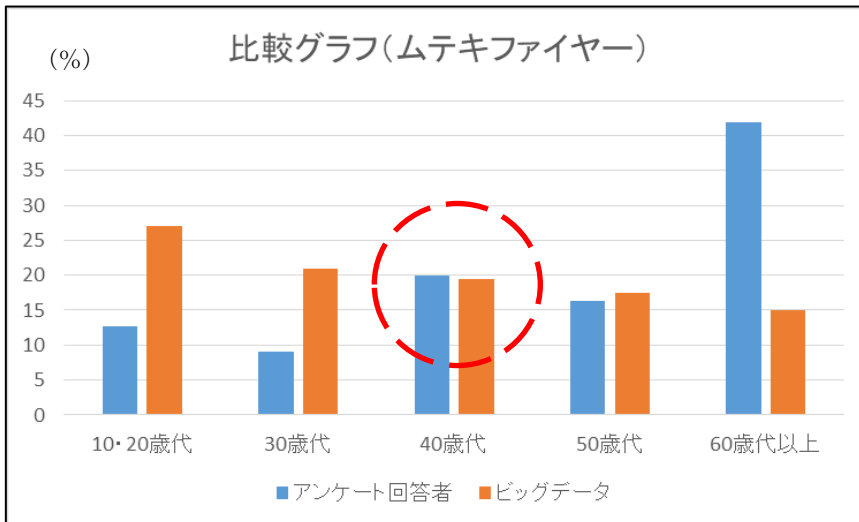


【比較（クリアファイル）】



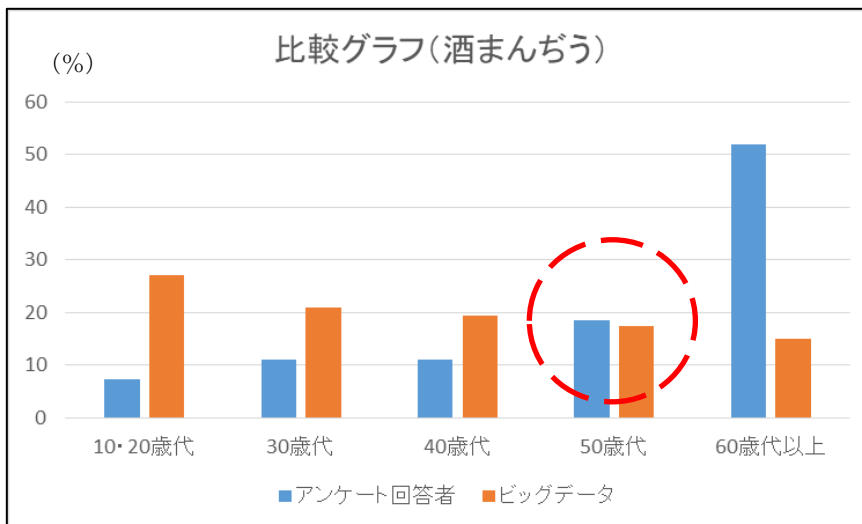
【比較（ムテキファイヤー）】

特に、40歳代の関心度が高い。



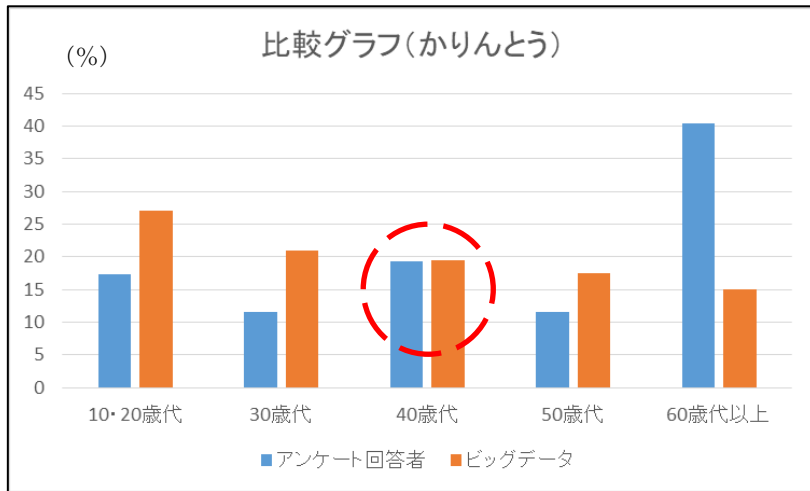
【比較（酒まんぢう）】

10～20歳代の関心度は低いが、50歳代、60歳代以上の関心度が非常に高い。



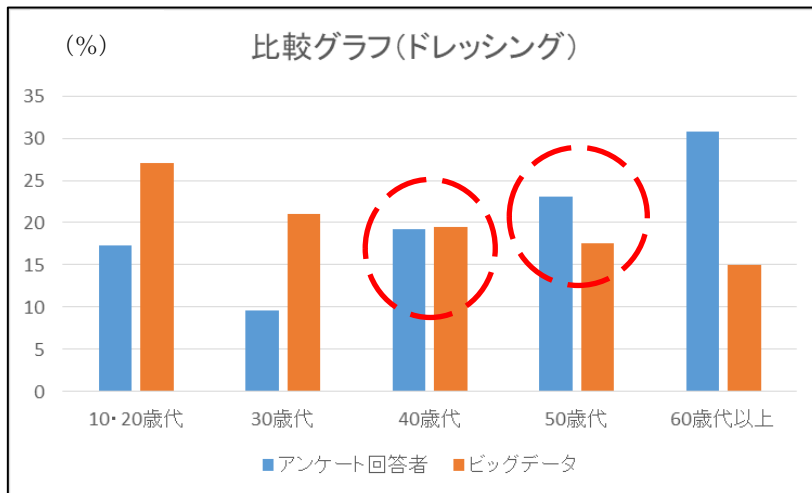
【比較（かりんとう）】

40歳代の関心度が高い。



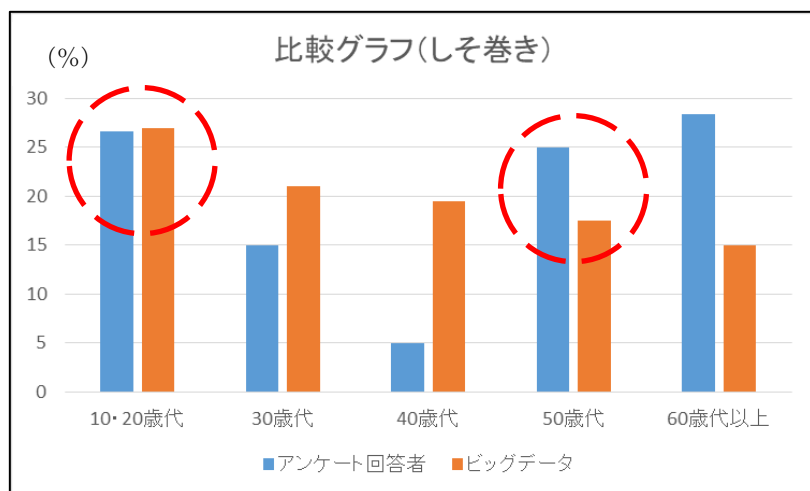
【比較（ドレッシング）】

40歳代、50歳代の関心度が高い。



【比較（しそ巻きくるみ揚げ）】

10～20歳代、50歳代の関心度が高く、40歳代の関心度は低い。



【比較（鳴子温泉湯あがりサイダー）】

30歳代、40歳代の関心度が高い。

